



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 川澄化学工業

コード番号 7703 URL <http://www.kawasumi.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川野 幸博

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 岡本 稔

TEL 03-5769-2600

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	24,020	3.7	1,917	△17.1	1,817	△20.9	1,163	△14.2
22年3月期第3四半期	23,173	0.6	2,314	21.0	2,296	30.8	1,356	112.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	50.87	—
22年3月期第3四半期	59.28	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	40,773		31,990		76.4	1,362.47	
22年3月期	40,863		31,830		75.7	1,352.57	

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 31,156百万円 22年3月期 30,941百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
23年3月期	—	7.50	—		
23年3月期 (予想)				7.50	15.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	3.3	2,700	△5.7	2,700	△9.3	1,700	△7.0	74.30

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）  
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無  
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	22,948,003株	22年3月期	22,948,003株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	79,941株	22年3月期	71,750株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	22,871,306株	22年3月期3Q	22,882,451株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等は添付資料の3ページをご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループでは、今年度を初年度とする中期経営計画を策定し、テーマを「Create New Values for the Customers」、副題として、「常に新しい価値を創り出し、提供し続ける」と決めました。このテーマのもと、国内外において市場に密着したマーケティング活動や販売体制の強化により、競争優位性の維持向上に努めてまいります。また、製品規格の見直しや生産ラインの効率化、歩留り・良品率の改善等により、品質・コストの両面での国際的な競争力の強化や不採算品の圧縮を行ない、収益性の向上に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績については以下のとおりです。

#### <売上高>

売上高は、血液浄化関連製品や海外向けダイアライザーなどが順調に推移したことにより、前年同期に比べ8億46百万円増の240億20百万円（前年同期比3.7%増）となりました。国内・海外別の売上高につきましては、国内売上高は、前年同期に比べ5億34百万円増の178億56百万円（同3.1%増）、海外売上高は、前年同期に比べ3億11百万円増の61億63百万円（同5.3%）増となりました。

#### <売上総利益・営業利益>

売上総利益は、合理化等によるコスト低減はあるものの、為替の影響や原燃料の市況影響を受けたことにより、前年同期に比べ2億35百万円減の80億65百万円（同2.8%減）となりました。なお、売上原価率が前年同期に比べ2.2ポイント上昇し、66.4%になりました。

また、販売費及び一般管理費は、新人事制度導入による人件費の増加、販売拡大にともなう経費の増加および研究開発費の増加等により、前年同期に比べ1億60百万円増の61億48百万円（同2.7%増）となりました。

これにより、営業利益は、前年同期に比べ3億96百万円減の19億17百万円（同17.1%減）となりました。

#### <経常利益>

営業利益が減少したことおよび為替差損を計上したこと等により、経常利益は、前年同期に比べ4億79百万円減の18億17百万円（同20.9%減）となりました。

#### <四半期純利益>

その結果、四半期純利益は、前年同期に比べ1億93百万円減の11億63百万円（同14.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①血液及び血管内関連

血液バッグの販売が、海外では増加したものの、国内では減少しました。その結果、売上高は、105億72百万円、セグメント利益は、15億84百万円となりました。

#### ②体外循環関連

血液浄化関連製品および海外向けダイアライザーの販売が増加しました。その結果、売上高は、134億47百万円、セグメント利益は、3億32百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ90百万円減の407億73百万円となりました。

流動資産は、主として現金及び預金の減少により、1億32百万円減の234億16百万円となりました。

固定資産は、主として機械装置及び運搬具の増加により、41百万円増の173億56百万円となりました。

流動負債は、主として買掛金の減少により、2億94百万円減の62億43百万円となりました。

固定負債は、主として退職給付引当金の増加により、42百万円増の25億38百万円となりました。

純資産は、主として利益剰余金の増加により、1億60百万円増の319億90百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は76.4%となり、前連結会計年度末と比べ0.7ポイント増加しました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億98百万円減の77億91百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内容は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、前年同期に比べ2億13百万円減の22億5百万円となりました。主な内容は、税金等調整前四半期純利益が18億62百万円であります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出したキャッシュ・フローは、前年同期に比べ12億62百万円減の19億11百万円となりました。主な内容は、有形固定資産の取得による支出が21億68百万円であります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出したキャッシュ・フローは、前年同期に比べ2百万円増の6億49百万円となりました。主な内容は、配当金の支払による支出が3億43百万円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想については、現状では予想値を修正する状況にはありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 会計処理基準に関する事項の変更

##### ① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

この変更による営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

##### ② 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この変更による経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

##### ③ 企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

この変更による営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

#### 表示方法の変更

##### (四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,884	8,749
受取手形及び売掛金	8,477	8,129
有価証券	—	50
商品及び製品	3,710	2,920
仕掛品	804	817
原材料及び貯蔵品	1,569	2,011
その他	969	871
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	23,416	23,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,289	5,572
機械装置及び運搬具（純額）	4,249	3,982
その他（純額）	3,670	3,305
有形固定資産合計	13,210	12,859
無形固定資産		
のれん	270	324
特許等実施権	258	333
その他	321	390
無形固定資産合計	850	1,048
投資その他の資産		
投資有価証券	2,033	2,367
その他	1,306	1,084
貸倒引当金	△43	△43
投資その他の資産合計	3,296	3,407
固定資産合計	17,356	17,315
資産合計	40,773	40,863
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,369	3,326
短期借入金	—	28
1年内返済予定の長期借入金	250	500
未払法人税等	308	186
引当金	53	369
その他	2,262	2,126
流動負債合計	6,243	6,537
固定負債		
退職給付引当金	1,873	1,844
負ののれん	56	73
その他	608	578
固定負債合計	2,538	2,495
負債合計	8,782	9,033

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,642	6,642
資本剰余金	6,462	6,462
利益剰余金	20,448	19,629
自己株式	△54	△51
株主資本合計	33,497	32,682
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△69	87
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△2,271	△1,827
評価・換算差額等合計	△2,340	△1,740
少数株主持分	834	888
純資産合計	31,990	31,830
負債純資産合計	40,773	40,863

## (2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	23,173	24,020
売上原価	14,872	15,954
売上総利益	8,301	8,065
販売費及び一般管理費	5,987	6,148
営業利益	2,314	1,917
営業外収益		
受取利息	12	7
受取配当金	20	18
負ののれん償却額	16	16
持分法による投資利益	26	49
作業くず売却収入	39	40
その他	83	87
営業外収益合計	199	221
営業外費用		
支払利息	15	9
為替差損	148	253
減価償却費	30	2
その他	22	56
営業外費用合計	217	321
経常利益	2,296	1,817
特別利益		
固定資産売却益	1	6
投資有価証券売却益	—	110
受取保険金	86	—
契約履行補償引当金戻入益	37	—
その他	0	—
特別利益合計	126	116
特別損失		
固定資産除売却損	86	24
貸倒引当金繰入額	1	—
投資有価証券評価損	4	46
その他	12	0
特別損失合計	105	71
税金等調整前四半期純利益	2,317	1,862
法人税、住民税及び事業税	317	576
過年度法人税等	47	—
法人税等調整額	560	108
法人税等合計	926	685
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,177
少数株主利益	34	13
四半期純利益	1,356	1,163



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,317	1,862
減価償却費	1,422	1,762
有形固定資産除却損	86	24
有形固定資産売却損益(△は益)	△1	△6
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△110
投資有価証券評価損益(△は益)	4	46
負ののれん償却額	△16	△16
引当金の増減額(△は減少)	△939	△257
受取利息及び受取配当金	△32	△25
支払利息	15	9
為替差損益(△は益)	71	△17
持分法による投資損益(△は益)	△26	△49
売上債権の増減額(△は増加)	△985	△452
たな卸資産の増減額(△は増加)	178	△432
仕入債務の増減額(△は減少)	796	130
その他	355	138
小計	3,245	2,605
利息及び配当金の受取額	50	63
利息の支払額	△13	△8
法人税等の支払額	△920	△454
法人税等の還付額	56	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,418	2,205
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△440	△13
定期預金の払戻による収入	560	280
有形固定資産の取得による支出	△2,409	△2,168
有形固定資産の売却による収入	2	48
無形固定資産の取得による支出	△135	△6
投資有価証券の取得による支出	△63	—
投資有価証券の売却による収入	6	54
事業譲受による支出	△694	—
その他	1	△105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,173	△1,911
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	—	△27
長期借入金の返済による支出	△250	△250
自己株式の増減額(△は増加)	△2	△4
配当金の支払額	△339	△343
少数株主への配当金の支払額	△2	△1
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△52	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△647	△649
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57	△242
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,459	△598
現金及び現金同等物の期首残高	9,867	8,389
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,407	7,791

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間において、当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の医薬品および医療機器を製造販売しているため事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	東南アジ ア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	21,806	984	383	23,173	—	23,173
(2) セグメント間の内部売上高	588	—	6,800	7,388	(7,388)	—
計	22,394	984	7,183	30,562	(7,388)	23,173
営業利益	1,668	90	302	2,061	252	2,314

(注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 米 州……………米 国

(2) 東南アジア……………タ イ

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	米州	欧州	アジア・オセ アニア	その他	計
I 海外売上高 (百万円)	3,329	1,039	1,233	248	5,851
II 連結売上高 (百万円)					23,173
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	14.4	4.5	5.3	1.1	25.3

(注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な内訳は次のとおりであります。

(1) 米 州……………米国、メキシコ 他

(2) 欧 州……………ドイツ、スペイン 他

(3) アジア・オセアニア……………タイ、台湾 他

(4) そ の 他……………トルコ、サウジアラビア 他

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の地域における売上高であります

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社および関係会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、定期的に経営成績の検討を行なう対象となっているものであります。

当社グループは、医療機器・医薬品の製造・販売を事業内容としており、「血液及び血管内関連」、「体外循環関連」の2つを報告セグメントとしております。

「血液及び血管内関連」の主要な製品は、血液バッグ・成分採血キット・輸血セット・血管造影用カテーテルなどであり、「体外循環関連」は、ダイアライザー（人工腎臓）・血液回路・AVF針（翼付動静脈針）・血液浄化用フィルター・生理食塩液・人工心肺用回路などであります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

	血液及び血管内関連 (百万円)	体外循環関連 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注)
売上高					
外部顧客への売上高	10,572	13,447	24,020	—	24,020
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,572	13,447	24,020	—	24,020
セグメント利益	1,584	332	1,917	—	1,917

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 地域に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

売上高

米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・オセアニア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
3,129	1,124	1,523	385	6,163

(注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な内訳は次のとおりであります。

- (1) 米 州……………米国、メキシコ 他
- (2) 欧 州……………ドイツ、スペイン 他
- (3) アジア・オセアニア……………タイ、台湾 他
- (4) そ の 他……………トルコ、サウジアラビア 他

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の地域における売上高であります。

(参考)

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	血液及び血管 内関連 (百万円)	体外循環 関連 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	10,659	12,514	23,173	—	23,173
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,659	12,514	23,173	—	23,173
セグメント利益	1,555	757	2,314	—	2,314

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。